あきしま 市議会だより

No.298
令和8年(2026年)10月31日

おもな内容

- 決算審査(質疑、賛否の分かれたもの)‥ 1面～2面
- 討論 …… 2面～3面
- 補正予算審査(質疑) ……3面
- 一般質問 …… 4面～8面
- 会議の開催状況 ……4面
- 提出案件と結果 ……4面～5面
- これからの会議の予定 ……8面

編集:昭島市議会　議会運営委員会　発行:昭島市議会事務局　〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号　電話:042-544-4476　昭島市ホームページ https://www.city.akishima.lg.jp/



▲秋を彩るあきしまの風景（左上：みんなあつまれ！リトミック　左下：エコ・パーク
中央下：フレッシュママパパ学級　右：コスモス）

第3回定例会

長期化する物価高騰対策などを含む 令和7年度の各会計決算を認定

（一般会計決算歳出総額 552億5千126万円）

令和8年度一般会計補正予算 など25議案を可決

令和8年第3回昭島市議会定例会は、9月2日から10月5日までの34日間を会期として開かれました。市長から提出された議案24件、議員から提出された議案1件が可決及び認定され、一般質問は4日間にわたり18人の議員が行いました。

決算審査特別委員会

◇開催日　9月24日・25日・28日
◇委員長　赤沼 泰雄
◇副委員長　木﨑 親一
◇委員数　17人（正副議長、監査委員を除く）
◇審査結果　各会計とも認定



副委員長 木﨑 親一



委員長　赤沼 泰雄

各会派の主な質疑（質疑順に掲載）

公明党昭島市議団

質問　災害発生時にエレベーター内で利用者が閉じ込められた場合に備え、非常用トイレや飲料水などを格納できる防災チェアを、市役所本庁舎エレベーター内に配備する考えは。

答弁　関係法令や既に備わっているエレベーターの機能などの課題を整理し、関係部署と調整を図りながら検討していく。

質問　市ホームページのAIサイト内検索機能について、検索する言葉によって必要な情報へのたどり着きやすさに違いがあると感じたが、考えは。

答弁　AIが市ホームページの記載をどのように読み取っているのかを研究し、検索機能の向上につなげていく。

質問　令和7年度の普通交付税は最終的に約10億円となったが、今後の見通しは。

答弁　市の人口増加に伴い、市税や基準財政需要額も増えているため、市税などの動向を注視し、今後の交付税について見極めていく。

質問　高齢化の進展に伴い、紙おむつの排出量増加が見込まれる。再資源化について調査・研究を進めるべきだが、考えは。

答弁　市内企業が紙おむつを再資源化する使用済み紙おむつの分別処理装置を開発したが、改良を行うとのことであり、今後、研究していく。

質問　既設の街路灯に防犯カメラを設置することは技術的に可能なのか。

答弁　それぞれの支柱の構造的な強度などを確認した上での判断となるが、架空配線の街路灯については分岐が可能のため、カメラの取り付けも可能と考えられる。

質問　北区の小学校での火災を受け、改めて学校における緊急時の安全確保について考える必要がある。7年度において学校施設の安全確保のため、どのような整備や更新を行ったのか。

答弁　IP電話網に対応した非常通報装置への更新に加え、老朽化した防犯カメラの更新を行った。

無会派

質問　地方消費税交付金の増額分について、市民生活への支援にどのように生かしたのか。

答弁　社会保障に関する4つの経費や、その他社会保障施策に要する経費において活用している。

質問　女性を対象としたひきこもりUX会議について、今後、男性当事者やその家族を対象に実施する考えは。

答弁　広域連携による事業のため、他市の状況なども勘案しながら展開していく。

質問　DXの推進には、デジタル人財の育成が非常に重要である。今後の展望は。

答弁　デジタル技術の活用やBPR実践研修を通じて、デジタルスキルとBPRを実践できる職員の育成に取り組んでいく。

質問　中神土地区画整理事業は、早期の完了が望まれるが、現状と今後の予定は。

答弁　早期完了を至上命題とし、換地処分に向けて工作物の移転や換地計画策定の準備を進めている。

自由民主党昭島市議団

質問　緑化推進基金の取り崩しがあったが、今後、樹木等の維持保全経費は増加していくと考える。見解は。

答弁　決算等の状況を見ながら、適切な基金残高を勘案し、基金の活用等を検討していく。

質問　市民サービスをより充実させるため、資金の管理方針を策定した上で多くの運用益を得るべきと考えるが、見解は。

答弁　時代も変化しており、今後、基金の運用等について方針を決めていきたい。

質問　公共施設整備等資金積立基金の残高が90億6千910万円となっているが、今後の大規模改修や建て替えについて、考えは。

答弁　施設の統廃合や集約化を検討した上で具体的な計画を策定し、基金や地方債を効率的に活用しながら対応していく。

質問　清掃センターの更新について、近隣市との広域化を検討するなど、今後の方向性を早期に決めるべき。

答弁　最良の選択ができるよう、様々な考えを持ちながら最終的に判断していく。

質問　豪雨対策として、JR青梅線をくぐるアンダーパスの壁面と路面に松原立体と同様の浸水深を表示するよう、都に求める考えは。

答弁　関係機関と連携し、引き続き強く要請していく。

質問　英語スピーチコンテストの実施は非常に有益と考える。学習用タブレット

2面上段へ続く

1面下段より

端末を活用した動画配信を行っては。

答弁　タブレット端末への意見文作品集の配布も含め、引き続き検討していく。

質問　事務報告書において、部活動指導員の集計は人数となっているが、補助員を回数とした理由は。

答弁　部活動指導補助員は不定期に指導補助を行っている場合も多くあるため。

質問　供用開始から長年が経過している総合スポーツセンターについて、大規模修繕や建て替えを行うなど、今後の考え方は。

答弁　過去の経過も踏まえ、都等と話し合い、市民の声を聞きながら対応していく。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

質問　コンビニエンスストアでの証明書発行は、職員の負担軽減につながるため、拡充すべき。戸籍謄本の発行について、進捗は。

答弁　国の電子化の動向を注視する中、システム更新等の際に実施の可否も含めて総合的に検討していく。

質問　養育費確保支援補助金の申請が少ない理由として、制度を知らなかった方が多いことが考えられる。対象者へどのようなアプローチをしているのか。

答弁　市民課へ離婚届を取りに来た市民に、お知らせを渡している。

質問　ＨＰＶワクチンの男性接種について、男女ともに関わる感染症であるという知識を身に付けることが重要と考える。学校におけるがん教育での取り扱いは。

答弁　自身や周囲の健康を守るという視点で、検診や予防接種の内容も含めて、がん教育を実施している。

質問　防災士の資格取得について、令和7年度は10名が取得したとのことだが、今後の展開は。

答弁　8年度も各団体へ資格取得の依頼をしている。今後は、市全体の防災士協議会等を立ち上げ、防災力の向上に努めていきたい。

質問　学区内に特別支援学級がなく、学区外から通っている子どももいる。市内全域に増設していく考えは。

答弁　特別支援教育の推進計画の中で、増設に向けた検討について示している。

質問　介護保険について、①地域密着型介護サービスの実績が6年度より減少しているが、要因は。②市内のケアマネージャーが減少している。見解は。

答弁　①介護人材不足等による事業者数の減が主な要因と考える。②なり手不足等の課題に対し、国・都・市で介護人材対策を実施している。引き続き人材の確保・定着に取り組んでいく。

日本共産党昭島市議団

質問　横田基地問題について、パラシュート落下事故やＣＶ-22オスプレイの緊急着陸など、市民の不安は高まっており、目視調査の再開を求めるべき。見解は。

答弁　引き続き都と基地周辺市町と連携しながら、国等へ要請していきたい。

質問　障害者の相談業務について、困難なケースへの専門的支援や地域生活拠点を機能させるための中核的な役割として、基幹相談支援センターを設置する考えは。

答弁　相談業務機能については早々に設置すべく、現在、関係機関と調整を図っている。

質問　ＰＦＡＳ問題について、継続的な独自調査を行うべき。令和9年度に実施する考えは。

答弁　8年度に市独自で15か所の調査を行い、市内全域で一定程度の確認ができたため、実施の予定はない。

質問　ＧＬＰ昭島プロジェクトにおける雨水貯留浸透施設について、昨今の気候変動により、降雨強度だけで雨水管理の適正さを判断するのは困難では。

答弁　建物の形状や施設の規模などの詳細が明らかになっていないため、全ての状況を加味した上での浸透能力の精査が必要になってくると考える。

質問　スクールロイヤー制度について、子どもたちの権利がどれだけ守られるのかが重要であると考えるが、どのような効果が得られたのか。

答弁　子どもの最善の利益を図るという大きな目的に従い、子どもの権利を踏まえた助言を得ている。

質問　国民健康保険特別会計に3億円を超える剰余金が生じているが、収支の差をどう評価しているのか。

答弁　一般会計から赤字補填分として繰り入れた部分の剰余金と認識している。

みらいネットワーク

質問　身寄り問題について、社会福祉協議会と更に連携を深め、予算確保を図るべき。考えは。

答弁　継続性・計画性のある事業実施の視点も含めた中で、予算協議を行っていく。

質問　公害調査測定等経費について、ＧＬＰ昭島プロジェクトを踏まえて拡充した調査の状況は。

答弁　大気調査と自動車騒音調査を拡充している。

質問　住居確保について、居住支援協議会の設立などの検討状況は。

答弁　まずは、都の居住支援協議会にオブザーバーとして参加し、情報収集や関係団体とのネットワークづくりに努めている。

令和７年度各会計決算額

一般会計
歳入　580億8061万7411円
歳出　552億5126万1629円

国民健康保険特別会計
歳入　115億2927万1655円
歳出　111億9760万7678円

介護保険特別会計
歳入　104億8057万9532円
歳出　102億3316万2538円

後期高齢者医療特別会計
歳入　34億3799万2316円
歳出　34億2704万9464円

中神土地区画整理事業特別会計
歳入　4億5026万2380円
歳出　4億4838万8500円

中神駅北側地域整備事業特別会計
歳入　7億9460万8199円
歳出　7億6123万　284円

水道事業会計
【収益的収入及び支出】
収入　19億5675万9307円
支出　16億6400万4799円
【資本的収入及び支出】
収入　1008万6000円
支出　8億5139万4117円

下水道事業会計
【収益的収入及び支出】
収入　24億8277万4327円
支出　22億6985万3833円
【資本的収入及び支出】
収入　4億3859万5700円
支出　12億6370万8628円

本会議において賛否の分かれたもの（決算）　○は賛成　×は反対

件名＼会派名（）内は議員数 議長は含まれない	採決の結果	無会派 (1)	無会派 (1)	みらいネットワーク (2)	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団 (3)	日本共産党昭島市議団 (3)	公明党昭島市議団 (5)	自由民主党昭島市議団 (4)
令和７年度昭島市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	×	○	○	×	○	○

討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

令和7年度一般会計歳入歳出決算を認定とする委員長報告について

反対
日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

市の決算状況は財政上の余裕があり、相対的に安全で、国民健康保険税の引き下げや中小企業への賃上げ支援、教育費無償化の検討など、更なる物価高騰対策は可能であったと考える。

また、施設整備における地域住民や当事者との対話の不足、市民不在のまちづくり条例策定等、市政運営の根本である市民との対話によるまちづくりに逆行していると指摘する。

さらに、子どもの貧困対策実行計画の策定やＧＬＰ昭島プロジェクトに係る三者協議会の設置、ＰＦＡＳ汚染に対する継続的な井戸の市独自調査を実施すべき。

以上の点を指摘し、本決算に反対する。

賛成
自由民主党昭島市議団　小林　こうじ　議員

市税を中心に予算以上の歳入を確保した上で、効果的な予算執行を徹底し、生まれた決算剰余金についても、半分を基金に積み立て将来に備えるとともに、長引く物価高騰対策として、引き続き水道料金・下水道使用料減免事業を実施した。

また、子育て応援手当支給事業など、刻々と変化する状況に応じて早期に各種事業を実施し、市民及び事業者の支援に活用したことは、高く評価している。

引き続き中長期的な財政見通しの下、持続可能な行財政運営の推進を図りながら、地域振興に対する支援など、市民や事業者に寄り添った事業展開を願い、本決算に賛成する。

賛成
公明党昭島市議団　大島　ひろし　議員

普通交付税が流動的である昨今の財政状況にもかかわらず、決算収支が黒字となっており、安定的な財政運営と評価できる。各種施策に対し、適切な執行が実施された決算となっている。

家庭用防犯カメラ設置費補助事業や防災士資格取得推進事業、ＨＰＶワクチン男性任意接種事業や学校給

3面下段へ続く

補正予算審査特別委員会

◇開催日　9月9日
◇委員長　三田　俊司
◇副委員長　林　まい子
◇委員数　18人
（正副議長を除く）
◇審査結果　各会計とも原案可決

各会派の主な質疑（質疑順に掲載）

みらいネットワーク

質問　介護事業所支援給付金事業について、実態把握と現場からの声は。

答弁　支援に関する声があり、令和7年度実績と国の臨時交付金等を活用し計上した。

質問　ごみ処理費について、①8年度の委託単価が当初より上昇しているが、9年度の予算について、考えは。②7年度のプラスチックごみが、6年度と比べ減った理由は。

答弁　①適正な単価を十分研究したい。②市民の一つひとつの行動が減量につながったと捉えている。

質問　プレミアム付デジタル商品券発行事業について、利用困難な方への対策は。

答弁　市民対象の説明会等の実施やコールセンターを設け、対応していく。

公明党昭島市議団

質問　市役所本庁舎やアキシマエンシスに授乳室を設置しているが、今後、親子で訪れる施設などへ設置する考えは。

答弁　子育て世代にとって使いやすい施設となるよう、ニーズ等を捉えながら検討していく。

質問　公共施設整備等資金積立基金について、①実質収支の2分の1の積み立てを計上した理由は。②基金が積み立てられる一方で、学童クラブ整備事業費は減額となっている。学校と学童クラブの施設の管理にあたり、将来的に施設の統合や多機能化に取り組む考えは。

答弁　①昨今の労務単価上昇や物価高騰が工事費に与える影響は著しく、今後の財政負担は非常に大きいものと想定して計上した。②庁内連携の下、中長期的な視点を持ち、学校と他の公共施設の複合化・集約化といった視点を踏まえた検討が必要であると捉えている。

質問　プレミアム付商品券発行事業について、紙の商品券ではなく、キャッシュレス決済を活用したデジタル商品券とした理由は。

答弁　既存のデジタル商品券のスキームを利用することにより、事務費や事務負担を抑え、迅速な事業実施ができるためである。

無会派

質問　プレミアム付デジタル商品券発行事業について、誰も取り残さないように実施する考えは。

答弁　デジタルに触れる機会となることが期待できる事業であると考える。説明会の実施やコールセンターの設置により支援していく。

質問　民生費における過年度返還金が3億1千470万1千円となっているが、子育て支援や障害者施策などに活用できなかったのか。

答弁　市民サービスの抑制ではなく、補助金等の交付を受けた各種事業費の確定による精算額である。

自由民主党昭島市議団

質問　財政について、①繰越金が約23億円となっており、税収が増え財政運営が順調であるが、市税の増が影響しているのか。②今後もマンションや戸建て住宅が増え税収増が見込まれるが、令和9年度の予算編成について、考えは。

答弁　①個人市民税と法人市民税がともに増となっており、大きな要因であると捉えている。②物価高騰等に対応する中、市税の動向を見極めた上で予算編成を行っていく。

質問　ごみの指定収集袋について、①インク等の価格高騰により、外装袋を2色刷りにするなどの仕様の変更はあるのか。②買い占めは起きているか。③作成費が30％上乗せされてしまうものが対象となるのか。

答弁　①仕様の変更はない。②不足の報道も落ち着きを見せ、現在は滞りなく配送できているため、不足が生じている報告は受けていない。③8年度作成するものが対象である。

質問　事業者支援給付金について、申請から給付決定まで、どの程度の期間を見込んでいるか。

答弁　8年12月頃からの申請を見込んでおり、年度内には完結できるように実施していく。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

質問　学童クラブについて、①中神学童クラブの改修工事内容は。②改修による定員数の増はあるのか。③トイレの整備について、考えは。

答弁　①トイレやエアコン等の改修を予定している。②定員数の変更はない。③洋式化などを積極的に推進していく。

質問　中東情勢の影響により、ごみの指定収集袋が供給不足となった場合の対応は。

答弁　最終的にはレジ袋での対応も検討していく。

質問　事業者支援給付金について、①対象企業の条件は。②幅広い事業者に利用してもらうための対策は。

答弁　①緊急対策事業資金融資のスキームを準用していく。②商工会の会報や金融機関の協力を得て周知していく。

質問　プレミアム付デジタル商品券発行事業について、相談会の開催場所や時期は。

答弁　イーストテラス・サブスリーなどの市内の施設で、事業実施予定の12月1日前後に開催予定である。

日本共産党昭島市議団

質問　実質収支から各種基金に法定額を4億921万1千円上回る額を積み立てているが、具体的な算出根拠は示されていない。物価高騰対策として、市民や事業者への追加支援を拡充すべき。

答弁　財政需要全般を見通す中、今必要な措置を行った上で将来の行財政運営に備えるという考えである。

質問　各種基金の積み立て額が総合基本計画の前期目標を上回っているが、物価高騰対策の財源は十分にあるのでは。

答弁　目標額は達成見込みであるが、今後の財政需要を推計する中では基金の積み立ては十分とは言えない。

質問　物価高騰対策における障害福祉サービス事業所等への支援事業について、事業者の意向を確認する等、令和7年度からの変更点は。

答弁　補助申請に係る事務負担の軽減を図るべく8年度は給付金として実施する。

質問　中小企業の賃上げを促進するため、必要経費を補助していく考えは。

答弁　一時的な効果ではなく、課題解決となる実情に即した支援策を検討していく。

2面下段より

賛成

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団
八田　一彦　議員

小学校の早朝見守り事業や移動児童館、水道料金・下水道使用料の減免など、市民の声や社会環境の変化を捉え、具体的な施策として実現したものについては、評価したい。

一方で、学童クラブの待機児童対策はスピード感を持った対応が必要であり、スポーツ施設についても、市民の声を受け止め中長期的な計画の中で整備を具体化するなど、決算審査で明らかになった課題を、翌年度以降の施策や予算編成に確実につなげていくことを求める。

限られた財源を有効に活用しながら、市民の声を政策として形にすることを求め、本決算に賛成する。

みらいネットワーク
林　まい子　議員

気候市民会議や特別支援教育に関する講演会開催を評価する。一方で、市職員の職場環境改善、GLP昭島プロジェクトによる環境影響対策、横田基地におけるPFAS問題やオスプレイ問題の抜本的改善、安心して暮らすための住居確保、障害者福祉サービスの移動支援事業における賃上げや制限撤廃、がん検診の周知、不登校支援対策や通学時の移動支援などの更なる取り組みを求める。

本市のまちづくりの理念である「人間尊重」「環境との共生」を基本とし、市民とともに持続可能なまちづくりを常に試行錯誤していくことを求め、本決算に賛成する。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団
八田　一彦　議員

食費無償化事業、また、水道料金・下水道使用料減免事業など、市民生活の向上や物価高騰対策等、総合的な観点から非常に評価できる内容である。

今後も財政健全化に努め、住み続けたいまち昭島の構築を更に加速させるべく尽力していくことを望み、本決算に賛成する。

予算の補正状況

一般会計（第１号）

当初予算	576億　円
今回補正額	23億4480万　円
予算総額	599億4480万　円

国民健康保険特別会計（第１号）

当初予算	117億9057万　円
今回補正額	3億3235万8千円
予算総額	121億2292万8千円

介護保険特別会計（第１号）

当初予算	107億　349万　円
今回補正額	2億5853万4千円
予算総額	109億6202万4千円

後期高齢者医療特別会計（第１号）

当初予算	35億5019万　円
今回補正額	4841万6千円
予算総額	35億9860万6千円

中神土地区画整理事業特別会計（第１号）

当初予算	3億1860万2千円
今回補正額	187万3千円
予算総額	3億2047万5千円

中神駅北側地域整備事業特別会計（第１号）

当初予算	12億2000万3千円
今回補正額	3337万7千円
予算総額	12億5338万　円

熊本地震に伴う災害に対しての支援

○義援金を送金しました

昭島市議会は9月25日に、義援金20万円（議員一人あたり1万円）を九州市議会議長会（九州市議会議長会　災害義援金口座）へ送金しました。

一般質問（要旨）

これからの公園づくりについて



都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　ひえの　たかゆき　議員

質問　近年は猛暑日が増え、夏休みでも公園を利用する子どもの姿が減少していると感じる。①現在の公園における日陰の確保状況は。②今後の公園整備や改修にあたり、日よけシェード等の暑さ対策をこれまで以上に取り入れる考えは。

答弁　①木陰やあずまや等を休憩所として活用している。②暑さ対策の検討については重要な課題と捉えており、改修等をする中で、どのような対応ができるか検討していく。

質問　新畑公園の整備と周辺の安全対策について、①開園後、どのような利用状況を想定しているか。②公園を利用する際の徒歩や自転車の動線と、近隣事業所に出入りするトラック等の車両動線を考慮し、安全面からどのような検討をしているか。

答弁　①市内初のボール遊びが可能な公園となることから、利用人数は令和7年に開園した南文化公園の当初の人数を超えると想定される。②設計時より昭島警察署と、利用者動線を考慮した施設出入口の位置の検討や新たな横断歩道の設置計画等、調整を図っている。

質問　公園における手持ち花火の利用について、立川市では期間等のルールを設け、手持ち花火を認めている公園がある。①市としてどのように受け止めているか。②実際の実施状況を確認する考えは。

答弁　①市外で使用可能な施設があることは確認しているが、花火による火災や騒音等の課題も考えられるため、慎重に検討していく。②引き続き立川市と情報交換をする中で、市としてどのような対応ができるか、情報収集に努めていく。

実際に使える防災の実現について



無会派　なかお　フミヒト　議員

質問　災害対策において、被災者の健康や尊厳を守ることは行政に求められる重要な責務と考える。①発災時には、市民の命と生活を支える様々な場面で電力が必要であるが、広域的な停電が長期化した場合の対応は。②避難所における子どもや女性などのプライバシーと安全確保について、考えは。③誰が避難してきても必要な支援につなげられる体制の整備が重要である。人工呼吸器等を使用している避難者の電源確保について、考えは。④入浴支援に関する協定を市内全ての入浴施設と締結しているが、周知方法は。⑤避難生活が長期化した際には、保存食のみでは不十分であり、温かく栄養のある食事の重要性が改めて認識されている。避難者に対し、どのように適切な食事につなげていくのか。⑥机上では見えない課題を把握するため、ベッドや災害用トイレなどを設置した避難所開設・宿泊体験型防災訓練を実施しては。

答弁　①停電対策の実施に加え、都への電源車派遣や電力事業者への早期復旧の要請を行う等、関係機関との連携を図っていく。②一定の配慮が必要な場合には、学校の教室や避難所内の個室の使用を想定している。③備蓄している発電機等で医療機器の予備バッテリーの充電は可能と考えており、引き続き新たな電源確保策等を検討していく。④避難所での周知に加え、メール配信サービス等の活用を考えている。⑤国や都をはじめ、食料支援の協定先等にも協力を要請し、適切な食事の提供に努めていく。⑥非常に効果的で有益と認識しており、どのような対応を図れるか検討していく。



フレッシュパパ奮闘中!
（フレッシュママパパ学級）

環境施策の充実について



公明党昭島市議団　赤沼　泰雄　議員

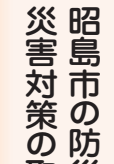
質問　環境施策の充実について、①昭島駅北側地区のデータセンター等の稼働による排出熱や消費電力の問題等は、周辺環境に与える影響が懸念されている。施設稼働に伴う税収増の一部を環境施策に活用する考えは。②2030年までに陸と海の30％以上を健全な生態系として効果的に保全する国際目標30by30達成のため、30by30アライアンスに参加登録し、生態系保全に取り組む考えは。

答弁　①将来の財政需要に配慮し、税収や開発行為の動向を踏まえ、財源配分について適切に検討していく。②豊かな水と緑の環境を次世代へ継承するという視点からも、先行事例等を参考に参加登録の可能性について検討していく。

質問　猛暑・酷暑対策について、①夏休み期間中は、子どもたちが安心して屋外で遊ぶことが難しい状況である。児童の居場所として、各小学校の体育館を開放してはどうか。②避難所にもなる小中学校に冷水機を設置することは、熱中症対策の一つとして一定の効果が期待できると考える。設置に対する所見は。③学校給食調理室のエアコン設置について、今後の見通しは。

答弁　①学童クラブに使用を許可している。その他の児童とのすみ分けなどの課題を整理する中、児童が安心して過ごせる場として活用が可能となるか検討していく。②有効な手段の一つであると認識しているが、給排水設備の改修などの課題がある。引き続き様々な視点から検討する中で児童・生徒の安全確保に努めていく。③各施設の状況等を勘案し、庁内関係部署と連携し検討を深めていく。

昭島市の防災対策、災害対策の取組みについて



無会派　南雲　隆志　議員

質問　防災対策・災害対策の取り組みについて、①令和7年に修正された地域防災計画の基本的な考え方は。②市の水害（内水）ハザードマップは、多摩川や残堀川の氾濫は考慮されていない。洪水・土砂災害ハザードマップと融合できないか。

答弁　①近年の災害リスクの高まりや市における災害対策の新たな取り組み等を踏まえ、修正した。引き続き本計画に基づき災害対応力等の向上につなげていく。②他自治体の事例もあることから今後、情報収集等を行っていく。

質問　立川基地跡地利用の取り組みについて、①昭3・2・11号国営公園西線の状況は。②昭和記念公園昭島口周辺の開発に対し、民間事業者の参加表明がなかった。現状と今後の展開は。

答弁　①現在、都はJR青梅線交差箇所の工事に向け調査・設計を行っている。②8年度、再公募に向け現地説明会が実施された。今後は12年度の供用開始を目指し、8年度末に再公募が行われる予定である。

質問　「がん」の取り組みについて、①がん予防啓発パネル展示やがん検診など、啓発活動に取り組んでいるが、更なる啓発や正確な情報を得るための取り組みは。②親ががんになった場合の知識や心構えなど、小中学生に対しどのような教育を実施しているか。

答弁　①今後も関係機関とも連携を図る中、セミナーの開催など機会を捉えた開催を検討していく。②学習指導要領に基づき、健康教育の一環としてがん教育を実施している。引き続き自らの命と健康を守る行動ができるよう、関係部署等と連携し指導の充実に努めていく。

会議の開催状況

定例会前
8月19日　総務委員協議会
20日　厚生文教委員協議会
21日　建設環境委員協議会
24日　基地対策特別委員会
26日　議会運営委員会

第3回定例会
9月2日～4日・7日　本会議
9日　補正予算審査特別委員会
10日　総務委員会・総務委員協議会
14日　建設環境委員会・建設環境委員協議会
18日　議会運営委員会・本会議
24日・25日・28日　決算審査特別委員会
10月5日　議会運営委員会・本会議

定例会後
10月13日　議会運営委員会

提出案件と結果

○可　決
▽令和8年度昭島市一般会計補正予算（第1号）
▽令和8年度昭島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
▽令和8年度昭島市介護保険特別会計補正予算（第1号）
▽令和8年度昭島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
▽令和8年度昭島市中神土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
▽令和8年度昭島市中神駅北側地域整備事業特別会計補正予算（第1号）
▽地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
▽昭島市公告式条例の一部を改正する条例
▽都市計画道路3・4・1号かん体築造工事請負変更契約
▽昭島市民会館・公民館除湿温度保持機能等復旧工事請負変更契約
▽学校給食調理用備品の取得について
▽消防ポンプ自動車の取得について
▽東京都市公平委員会共同設置規約の変更について

5面下段へ続く

一般質問（要旨）



笑顔いっぱいのハロウィンを!（ぱれっと）

気候危機の下で市民の命と暮らしを守る施策について



日本共産党昭島市議団　大野　ふびと　議員

質問　近年、雨水施設整備の前提を大きく上回る豪雨が発生している中、雨水管理方針で位置づけられている施設整備はどこまで進んでいるのか。

答弁　令和9年度より、東部3号ブロックにおける雨水幹線や枝線工事に着手していく。

質問　GLP昭島プロジェクトの内水氾濫への影響について、①雨水貯留浸透施設の設計条件を超える豪雨が発生した場合、事業地外へ流出する雨水量や流入先の排水施設などの検証を、市または事業者は行っているのか。②オーバーフローが発生した場合、内水氾濫のリスクがどの程度上昇するのかを、評価していないのか。

答弁　①敷地出入口等にグレーチング等を設け、敷地外へ流出しないよう指導を徹底しているが、設計条件を超えた場合は、周辺道路の雨水管に流入すると考え

質問　防災について、①上下水道や電力を必要とせず、移設も可能な「循環型トイレ」を導入する考えは。②オストメイトに関する周知や、ストーマ用装具保管事業に取り組む考えは。

答弁　①有益と認識しており、どのような対応が可能か、検討していく。②防災ガイドブック等の更新時に周知する予定である。要配慮者には個室の確保を想定しており、備蓄については、関係部署と相談しながら対応していく。

質問　GLP昭島プロジェクトにおいて締結予定の防災・災害対策に関する個別協定書について、行政や市民との定期的な避難訓練の実施、テナントに対する訓練以外での徹底策などを検討する考えは。

答弁　現時点で個別協定書に掲載する予定はないが、機会を捉えて申し入れなどを行っていく。

質問　遊びと学びについて、①遊びや子どもの権利についての理解を深めるため、

答弁　音声案内設備の維持管理など、構造面・運用面に課題があるため、ガイドラインに示された手法の適用可能性、また視覚障害者の意見の聴取方法について、調査・研究を進めていく。

質問　移動児童館は、常設児童館を補完するものなのか、代替するものなのか、考えは。

答弁　補完する役割を担うものであり、引き続き子どもたちの居場所や遊びの機会の提供に努めていく。

防災、子どもの遊び・学びまちづくり条例



みらいネットワーク　林　まい子　議員

プレーリーダーを養成する考えは。②地域との連携を深められるよう、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の取り組みを紹介する考えは。

答弁　①今後、どのような条例について、市民全体に届く周知を行う考えは。

答弁　市ホームページで周知している。今後、詳細なガイドラインを作成して掲載する予定であり、引き続き周知方法を検討していく。

質問　災害に備えるまちづくりの推進について、①キャンプ用品は収納に優れ、料理や寝泊りにも使え、災害時にも有効と考える。市内事業者と共同で総合防災訓練を実施しては。②避難所では、病気の蔓延防止等の観点からシャワーなどが必要である。衛生対策への考えは。③電源確保や環境面から、水素自動車の普及が有効である。市内で充填できるよう、水素ステーションを誘致する考えは。

災害に備えるまちづくりの推進について



自由民主党昭島市議団　小林　こうじ　議員

答弁　①有益なものと認識しており、市内事業者との災害に関する連携等について、群馬県館林市と災害協定を結んでいるが、交流が少ない。今後の在り方について、検討・協議を行っていく。

質問　国際交流の盛んな昭島市を目指して、①海外からの観光客は、SNSから情報収集し来日することも多い。市の無形文化財などを英語でも発信しては。②パース市との更なる関係性

答弁　①効果的と捉えており、昭島市デジタルアーカイブズなどのウェブコンテンツを連携させた効果的な手法についても、検討していく。②まずは現在のオンライン交流を継続する中で、必要性等を見極めていく。

質問　災害時は支援する側の体制だけでなく、支援を受ける側の準備、いわゆる受援体制の整備が重要である。①災害時受援応援計画の策定状況は。②受援訓練への取り組みは。

答弁　①現在策定を進めており、庁内において計画策定に関する説明会を開催した。②訓練の必要性は認識しており、訓練を行った上で受援体制等の検証や計画の見直しなど、平時より実効性のある体制構築に努めていく。

防災・減災へのさらなる取組みについて



公明党昭島市議団　松原　亜希子　議員

質問　がん検診の取り組みについて、①スマートフォン等から簡単に予約できる仕組みなど、デジタルを活用した受診率向上策を進めていくべきと考えるが、見解は。②他自治体では、中学生と年齢の近い医学生によるがん教育を実施している。昭島市でもモデル的に

答弁　医療的ケア児支援関係者会議を活用し、人材の確保や育成、組織体制の整備も視野に入れ、より安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、支援の強化を図っていく。

4面下段より

○認　定
▽令和7年度昭島市一般会計歳入歳出決算認定について
▽令和7年度昭島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
▽令和7年度昭島市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
▽令和7年度昭島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
▽令和7年度昭島市中神土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
▽令和7年度昭島市中神駅北側地域整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
▽令和7年度昭島市水道事業会計決算認定について
▽令和7年度昭島市下水道事業会計決算認定について

○受　理
▽令和7年度昭島市一般会計継続費精算報告書の報告について
▽令和7年度昭島市中神駅北側地域整備事業特別会計継続費精算報告書の報告について
▽令和7年度昭島市健全化判断比率の報告について
▽令和7年度昭島市資金不足比率の報告について
▽市道路線の廃止について（西308号）
▽令和7年度昭島市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
▽自治功労者を定めることについて
▽（議員提出議案）昭島市議会会議規則の一部を改正する規則

ご利用ください　声の市議会だより　点字市議会だより

目の不自由な方等に、市議会の活動をよりよく知っていただくため、声の市議会だより・点字市議会だよりを発行しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

※声の市議会だよりは、デジタル録音図書であるデイジー版をCDにて提供しています。

電話 042-544-4476（直通）

一般質問（要旨）



おいしくな～れ!（市内）

千葉豪雨を受けての水害に対する備えと対応について



自由民主党昭島市議団　三田　俊司　議員

質問　令和8年8月の千葉豪雨では、家屋の全壊や浸水、停電など大きな被害をもたらした。①地域防災計画の修正や追記を行う考えは。②車両の冠水被害への対策として、校庭やアキシマエンシス、昭和公園などの公共施設の駐車場を車の避難に使用する考えは。

答弁　①現在、地域防災計画における風水害計画の見直しを予定しているが、豪雨災害による教訓を踏まえ、更に必要となる対策について検討していく。②教育委員会や施設所管部署と協議し、検討していく。

質問　多摩川の状況をインターネットで確認できるライブカメラは、拝島町五丁目に設置されているが、川から一番近い住宅地である福島町から郷地町にも増設するよう、国に要望しては。

答弁　多摩川左岸付近は、河川と堤防の距離が近いことや浸水想定区域内に住宅があることから、国に対しライブカメラの増設などを要望していく。

質問　例年以上に国道や都道に雑草が繁茂しており、見通しが悪く危険な箇所があるが、管理者である国や都に対し早期に対応を依頼しては。

答弁　引き続き市民からの要望やパトロール時に確認した際には、速やかに対応を要請していく。

質問　用水土地改良区の農業者数の減少や高齢化が進む中、財政的な負担等を含め、どのような手法で用水路を維持していくのか。

答弁　地域の自発的な取り組みとの協働を大切にするとともに、都等とも連携し支援体制の拡充・強化について検討するなど、持続可能な管理体制に向け、着実に取り組んでいく。

子どもたちが安心して住める街について



都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　八田　一彦　議員

質問　子どもたちが安心して登校できる環境を整えることは、自治体の重要な責務の一つである。①保護者からの改善要望や交通事故の発生箇所等を集約した通学路安全マップを作成するなど、継続的な安全対策と情報の見える化をしていく考えは。②拝島中学校における学区域の変更は、友人関係や通学環境に関わる問題である。対象者に限定して、拝島中学校と新たな指定校となる多摩辺中学校を選択できる移行措置を設けては。

答弁　①保護者からの連絡については、対応できるよう努めている。引き続き様々なツールの情報収集を行いながら、効果的な手法について検討していく。②新規大型集合住宅の入居者数など、現時点では確定できない要素が多くあるため、困難性がある。

質問　少子高齢化が進む中、最新技術を活用したごみの更なる減量化を行う必要があると考える。他自治体において、使用済み紙おむつを再資源化する取り組みが進められているが、排出量を把握しやすい高齢者施設や保育園などで実証実験を行っては。

答弁　スペース等が確保できずに実施に至らなかった経緯があるため、難しい状況にある。引き続き周辺の資源化処理施設等の状況を注視し、研究していく。

質問　自治会館等における冷暖房設備について、熱中症対策や自治会を持続させる観点から、設置や更新費用に関する補助制度を新たに設ける考えは。

答弁　生命と健康を守る不可欠な設備であるため、自治会集会施設の規模や部屋数等、実態に即した支援に努めていく。

児童・生徒の学びと生活の環境整備について



公明党昭島市議団　大島　ひろし　議員

質問　学校施設の環境改善について、大規模改修を行うまでの暑熱対策として、遮光カーテン等を設置する予定は。

答弁　試験的に設置し効果の検証をするなど、効果的な対策についての検討を進めている。

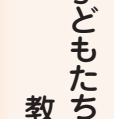
質問　図書館の在り方について、①マイナンバーカードを貸出券として利用できるようにする考えは。②学校図書館との連携の取り組み内容と展望は。

答弁　①システム更新などの機会を捉えて対応が可能か、研究していく。②団体貸し出しや司書教諭などへの研修会、図書館司書による連携等を行っていく。②導入自治体の取り組み状況や効果の把握に努めるとともに、新たに追加した移動支援用具の効果の検証なども踏まえ、今後の検討課題とする。

質問　道路の穴等の情報を、市公式ＬＩＮＥを活用し写真付きで受け取ることは今の時代に必要と考える。見解は。

答弁　手軽に通報できるなどの様々なメリットが考えられるため、他自治体の動向を注視し、より効果的・効率的な方法を検討していく。

子どもたちの教育環境について



自由民主党昭島市議団　美座　たかあき　議員

質問　部活動の地域展開は教員の負担軽減の目的もあるが、指導を希望する教員が勤務時間等に配慮された上で、地域クラブ等の指導者を兼職・兼業することについて、見解は。

答弁　教員の意向や熱意を受け止めることが重要と捉えており、地域クラブの指導者として活動できる体制の構築に努めていく。

質問　特別支援教育に関する基本的な知識は、一部の担当教員だけでなく全ての教員で共有しておくことが重要である。特別な配慮が必要な児童・生徒への対応を学ぶ機会を設け、学校全体として専門性を高めていくことについて、考えは。

答弁　大変重要と認識しており、引き続き担当教員への専門的な研修の充実はもとより、全ての教員の理解と指導力の向上を図り、学校全体として配慮を必要とする児童・生徒を支える体制の充実に取り組んでいく。

質問　安全で快適な生活環境の維持について、①草木などの市民からの通報に対し、対応は。②越境樹木に対し、緊急性があるなど一定の条件を設けた上で行政が対応できる仕組みづくりを検討しては。③除草などを実施した団体に協力金を交付するなど、地域の力を公共空間の維持管理に活かす仕組みを構築しては。

答弁　①通報後、おおむね3日以内に現地に赴き、安全確保の観点から調査し、対応している。②あらゆる視点でどのような手法が効果的・効率的な対応となるか、引き続き検討していく。③他自治体の事例を参考に、現行のアダプト制度との共存を含め、様々な課題を整理する中で検討していく。

これまでの市議会だよりをご覧になりませんか

昭島市議会ホームページ・デジタルブックサイト「TAMA ebooks（タマイーブックス）」にこれまでの市議会だよりを掲載しています。

市議会ホームページ　TAMA ebooks

請願・陳情の提出方法

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。

議会に提出された請願等（陳情で内容が請願に適合するものを含む）は、担当委員会で審査されます。

なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

請願等の書式（例）

○○○○に関する請願
（紹介議員がないものは陳情）

請願（陳情）の要旨

紹介議員
○○○○印

年　月　日
（あて先）昭島市議会議長

請願（陳情）者
住所　○○○○
氏名　○○○○印
電話　○○○○

一般質問（要旨）

切れ目のない障害者支援の充実について



公明党昭島市議団　吉野　智之　議員

質問　高次脳機能障害者への支援について、これまでの支援を再検証し、相談や就労等、地域生活に必要な支援を切れ目なくつないでいくべき。①今後、都との連携を含め、どのように相談支援の充実に取り組むのか。②地域生活を支える取り組みをどのように進めていくのか。③広報紙や市ホームページ等を活用し、相談窓口や支援制度等を市民に分かりやすく周知していくことについて、考えは。

答弁　①都が主催する高次脳機能障害者支援促進事業支援連絡会に市職員が参加し、都の支援事業の把握と連携に努めるとともに、都の高次脳機能障害者支援センターと連携を図り、相談支援の充実に取り組んでいく。②昭島市障害者地域支援協議会を基軸に、生活全般を支える支援体制の整備に取り組んでいく。③支援の充実が図れるよう、広報紙等をはじめ、機会を捉えた周知に努めていく。

質問　AI時代に向けた学校教育の取り組みについて、①AIを適切に活用するため、情報モラル等の情報活用能力を育成することについて、考えは。②情報教育を担う教員の確保や外部の専門人材の活用に向け、都と連携し専門人材を学校現場につなぐ仕組みづくりを進めることへの考えは。

答弁　①国のガイドラインや都の資料等を活用し、適宜指導している。引き続き基本的な知識の習得やAI活用のリスク等を正しく理解し、自ら判断する力を育成していく。②教員の負担軽減と教育の質の向上を両立させる仕組みと認識しており、都の動向等を注視する中で、連携した取り組みについて検討していく。

質問　子どもに対する性暴力は決して許されず、未然に防ぐ仕組みが必要である。①日本版DBSの施行に向けた準備状況は。②学校、学童クラブ等の施設への対策や相談機能の体制等、環境整備の状況は。

答弁　①関係部署と連携し、組織的な体制整備を進めているほか、市内の対象事業者へ制度の周知を進めている。②施設内に密室や死角を作らない等の環境整備をはじめ、研修による職員の意識の向上、組織的な相談体制の強化等に努めていく。

質問　産後の家事支援について、マッチングに課題があるとのことだが、委託先を増やしていくことについて、検討状況は。

答弁　ニーズに対応できるよう、事業所の拡充については検討を進めていく。

質問　里親などを活用した家庭的ショートステイ等のレスパイトは、必要な時に利用できることが重要である。検討状況と方向性は。

答弁　担い手の確保等、困難性が高いと認識している。つなげた事例がある。既に様々な取り組みを行っているが、より積極的に行っていく考えは。②健康に関する啓発セミナーなどを積極的に行うべきと考える。見解は。

答弁　①6年度より、誰もが自然と健康になれる取り組みの具現化を目指し、引き続き健康寿命が延伸できる取り組みを進めていく。②スーパーマーケットなどでの血圧測定会をはじめ、いきいき健康フェスティバル等において、健康に関心を持ってもらうイベントを行っている。今後も市民や企業とともに効果的な取り組みを検討し、実施していく。

質問　児童相談所と対策や他自治体の状況等を調査・研究し、引き続き検討していく。

質問　学童クラブの待機児童解消について、①民間事業者と連携した受け入れは、一時的な対応で終わらせず今後につなげることが重要である。今後、既存の公共施設や民間事業者等を活用した預け先の選択肢をどのように増やすのか。②安全で効率的かつ持続可能な送迎支援を、今後、どのような方向で構築していくのか。

答弁　①地域ごとの需要を踏まえ、地域資源の更なる活用を様々な角度から検討していく。②効果検証を行い、より効率的な事業展開が可能か検討していく。

賃金が上がる国への転換を求めることについて



日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

質問　止まらない物価上昇や教育費、社会保障費の重い負担の中、政治の責任で賃金が上がる国にすることが求められている。賃上げの直接支援に踏み出すべき。

答弁　多額の財政的な裏付けが必要である。一時的ではなく、持続的な賃上げに対応できる経営改善が重要であり、どのような対応が図られるか検討していく。

質問　国は下水道事業を民間に委託するウォーターPPPの導入を打ち出しているが、交付金の要件化や住民サービスの低下、災害時の対応など、様々な課題を抱えており、直営方式を堅持すべきと考える。①導入しない自治体もあるが、検討状況は。②事業者が運営権を持つコンセッション方式の導入を見据えた、管理・更新一体マネジメント方式の導入と考えるが、見解は。

答弁　①適切な財源確保は市民サービスの向上に資すると捉えており、積極的な検討を進めていく。②国の動向に注視しながら、まずは管理・更新一体マネジメント方式の導入に関する検討を深めていく。

質問　GLP昭島プロジェクトについて、①データセンターの莫大な電力消費や排熱等、様々な問題があるが、新しい公害という認識は。②開発事業者は住民とのコミュニケーションを図ることなく工事に着手しており、不安は増大している。住民意見に対する開発事業者の対応を共有するため、開かれた説明会を行うべき。

答弁　①法律に則った整備を行っており、現時点において新しい公害の認識はない。②全体説明会の開催は必要と考えており、引き続き開発事業者に求めていく。



狙いを定めて…（エコ・パーク）

昭島市の子どもと子育て家庭を支える仕組みづくり



都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　ゆざ　まさ子　議員

質問　定期的な防災訓練をはじめとして植樹活動や清掃活動など、地域の暮らしやすさを向上させるために様々な活動を行っている自治会は、地域生活を支える上で大変重要な役割を果たしている。1世帯当たりの補助金を令和8年度より350円に増額しているが、会員数の減少により予算が厳しいとの声がある。自治会の存続や活性化のため、補助金額を倍増するなど、更なる手厚い支援を行う考えは。

答弁　専門家派遣事業を活用した課題解決のための伴走支援や各種補助金の見直しと増額など、時代に即した多角的な支援に努めている。引き続き効果的な支援が図れるよう、検討・工夫を重ねていく。

質問　健康寿命延伸の取り組みについて、①他自治体

自治会への支援について



自由民主党昭島市議団　木﨑　親一　議員

において、徹底した減塩運動や保健師等の大幅な増員、生涯学習施設の増設など、誰もが健康で毎日元気に生き生きと暮らせる「ぴんぴんころり運動」の展開により、医療費の大幅な抑制に

ぎじ男くんとぎじ子さんの議会Q&A

ぎじ男　議場がリニューアルしたんだって？何が変わったの？

ぎじ子　大型モニターに発言残時間や採決の状況とかが映し出されたり、傍聴席に字幕モニターが新設されたりしたのよ。他にも…（詳細記事は8面です。）ぎじ男くん、一緒に行ってみない？

ぎじ男　その日は注文していた荷物が届く予定だから行けないなぁ。

ぎじ子　それなら、インターネット映像配信も見やすくリニューアルしたからオススメだよ。

ぎじ男　家にいながら本会議が見られるなんていいね。当日はインターネットで見てみよう。

ぎじ子　ところで何を注文したの？

ぎじ男　パソコン！

ぎじ子　……荷物、早く届くといいわね。

※スマートフォンでも視聴できます。



請負契約

件名	都市計画道路３・４・１号かん体築造工事請負変更契約
契約内容	契約金額：（変更前）２３６，１３１，５００円 （変更後）２４０，６９５，４００円 工期：令和７年６月13日から令和９年２月26日まで 請負業者：東鉄工業株式会社八王子支店

件名	昭島市民会館・公民館除湿温度保持機能等復旧工事請負変更契約
契約内容	契約金額：（変更前）６８２，０９４，６８８円 （変更後）７１１，８０８，９８８円 工期：令和７年６月13日から令和８年９月24日まで 請負業者：株式会社浅井設備

一般質問（要旨）

イチョウ並木・スポーツ大会
東中神駅舎・在日米軍横田基地

みらいネットワーク　青山　秀雄　議員

質問　美堀町三丁目のイチョウ並木が全枯れしたことについて、①枝下ろしや伐採等の業務委託内容は。②再発防止のための今後の取り組みは。

答弁　①令和6年以前に倒木があり、周辺地域への被害防止のため、7年に強剪定を実施した。②今後は、業者とも細かな意見調整等ができる状況をつくり、対応していく。

質問　7年に開催された市民スポーツ大会自治会ブロック別運動会で、参加者が追突され骨折し、入院した。事故再発防止への考えは。

答弁　安全対策の徹底について、各ブロックに周知徹底を図っていく。

質問　東中神駅舎の雨漏り問題について、駅利用者への周知方法や原因の究明は。

答弁　カラーコーン等で注意喚起をしている。また、原因を調査し対策しているが、解決には至っていない。

質問　在日米軍横田基地について、①国内でのオスプレイの緊急着陸は過去9年間で40回発生しており、墜落事故も2回発生している。本当に安全と言えるのか。②6年のPFOS等漏出事故において、長年の泡消火剤使用による土壌等の検査をすべきだが、考えは。

答弁　①8年度も予防着陸等が相次ぎ、周辺住民の不安解消には至っていないと認識している。引き続き都や周辺市町との連携を基軸に、不安解消に資する説明責任を果たし、安全対策や事故防止に万全の措置を講じるよう、要請していく。②国が土壌のPFOS等に係る暫定測定方法を示していることから、引き続き国が具体的な評価指標等を明らかにするよう、都に対し求めていく。

都営拝島町三丁目アパート地区地区計画について

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

質問　都営拝島町三丁目アパート地区地区計画について、①当該地区の避難所は旧拝島第四小学校だが、体育館の空調が整備されていないなど、不安の声がある。整備しなかった理由は。②住民に知らされないまま、都の自然環境デジタルミュージアム構想が進められている。早急に都へ説明会開催を要請すべき。

答弁　①閉校になった状況もあったため、現在、自治会の役員等とも協議する中、避難所の在り方についても今後、検討していく。②都からは、説明可能となった段階で実施すると聞いている。市としても近隣住民へ丁寧な情報提供等を実施するよう、要請していく。

質問　基幹相談支援センターは、複雑なケースに専門的に対応し、相談支援事業所や医療等の関係機関をつなぐ、地域の相談支援の中枢となるものである。設置に向けて検討しているとのことだが、具体的な設置時期は。

答弁　国等の動向を注視する中、保護者負担の軽減策を検討するとともに、都に対し財政支援の拡充について市長会等を通じ、要請を重ねていく。

質問　教育費の無償化について、教材の学校備品化を地域の実情に応じて積極的に取り組むよう、国から通知が出された。教育無償化を推進し、子どもたちの教育を受ける権利を保障することが求められているが、見解は。

答弁　まずは令和8年度から庁内に、身体障害・知的障害分野の相談専門支援員を配置し、9年度から精神障害分野の支援員も加えながら、センター機能の一部を段階的に構築していく。


すくすく成長中!
（市役所前のカリン）

自治功労者

次の方を昭島市表彰条例に基づく自治功労者と定めることについて、議決しました。

〔前農業委員会委員〕
宮﨑　邦康　氏
（18年在職）



これからの会議の予定　11月～1月

定例会前

開催日	開催時間	会議名	場所
11月13日(金)	午前9時30分	総務委員協議会	会議室402・403
11月16日(月)		厚生文教委員協議会	
11月17日(火)		建設環境委員協議会	
11月18日(水)	特別委員会		
11月19日(木)			
11月20日(金)	午前9時30分	議会運営委員会	

第4回定例会　＊インターネット中継を実施

開催日	開催時間	会議名	場所
11月30日(月)	午前9時30分	本会議(一般質問)＊	議場
12月1日(火)		本会議(一般質問)＊	
12月2日(水)		本会議(一般質問)＊	
12月3日(木)		本会議(一般質問・議案上程)＊	
12月7日(月)		補正予算審査特別委員会	会議室402・403
12月8日(火)		総務委員会	
12月9日(水)		厚生文教委員会	
12月10日(木)		建設環境委員会	
12月11日(金)	特別委員会		
12月14日(月)			
12月16日(水)	午前9時	議会運営委員会	
	午前9時30分	本会議(委員会審査報告・採決)＊	議場

定例会後

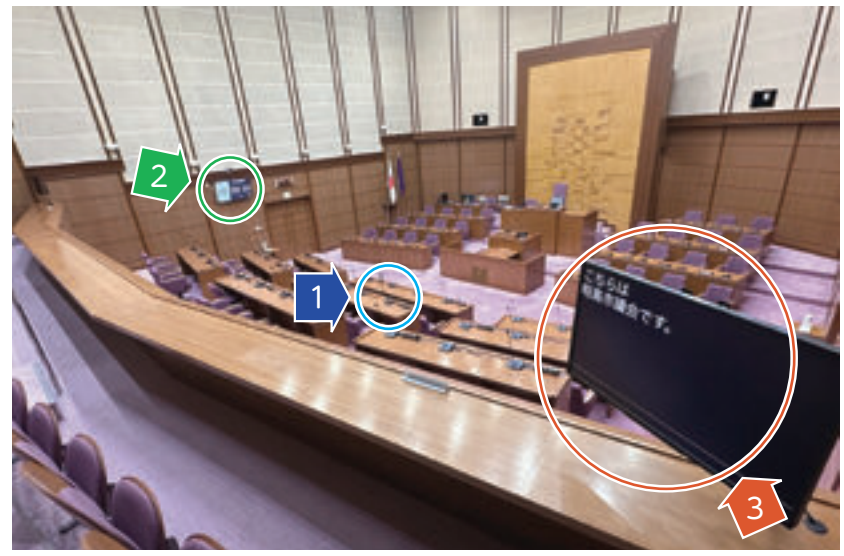
開催日	開催時間	会議名	場所
1月中旬	午前9時30分	議会運営委員会	会議室402・403

◇第4回定例会で審査を希望する請願等は、11月16日(月)午後5時までに提出をお願いします。

傍聴を希望される方は、市役所4階の議会事務局の窓口までお越しください。
日程等、変更になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
議会事務局　電話042-544-4476(直通)

議場の映像・音響等の設備をリニューアルしました！

より分かりやすく開かれた議会を目指し、令和8年第3回定例会から運用を開始しました。議場の音声が聞きやすくなり、インターネット映像配信も見やすくなりました。ぜひ、この機会に議会を傍聴してみませんか？



1　電子採決

議員席のマイクに表決機能が設置され、押しボタンで賛否を示すことができるようになりました。賛否の状況は大型モニターで確認できるので、審議の状況がより分かりやすくなりました。

2　大型モニター

壁面2か所に新設しました。発言の残時間や採決の状況等を表示します。

3　字幕モニター

傍聴席2か所に新設しました。本会議での発言をリアルタイムでAIによる文字変換を行い、モニターに表示します。
※誤変換が起きることもあります。あらかじめご了承ください。

また、傍聴席の階段に手すりを新設し、より安全にご利用いただけるようになりました。